

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

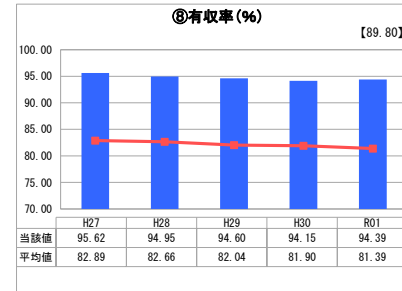
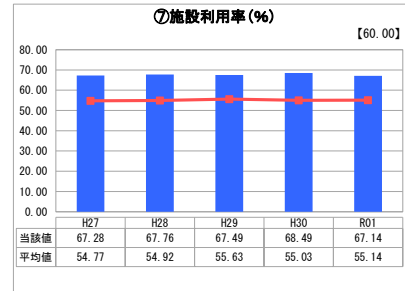
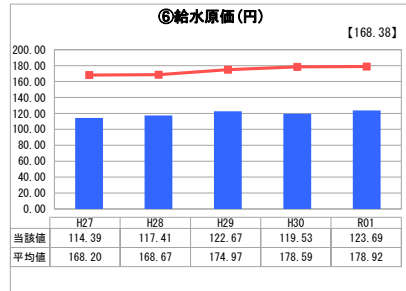
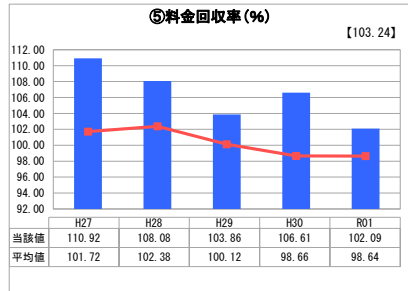
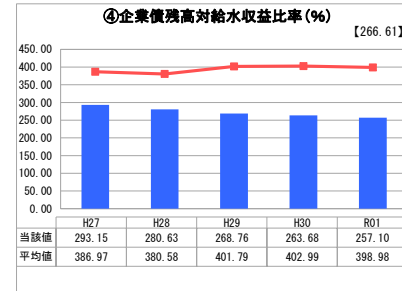
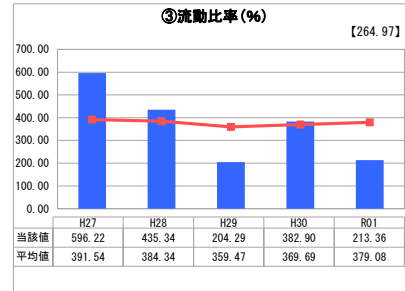
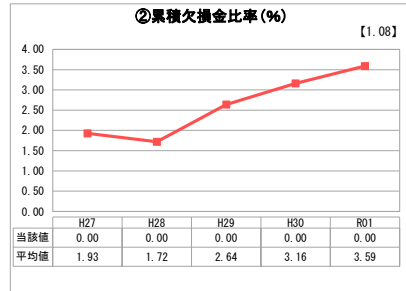
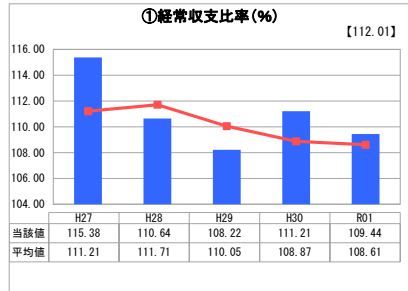
栃木県 野木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	76.96	87.19	2,530	

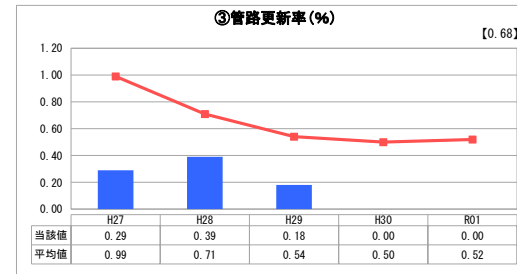
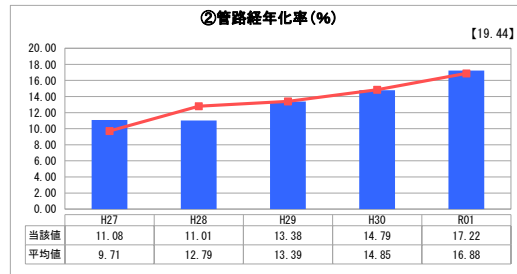
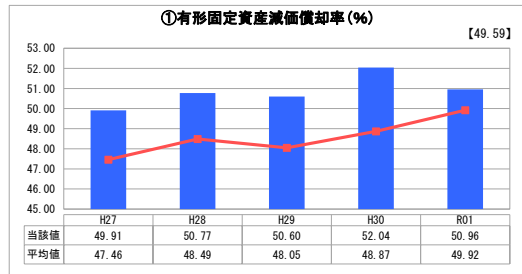
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
25,598	30.27	845.66
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
22,290	20.79	1,072.15

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
⇒100%を超えており、類似団体と比較した場合も若干上回っている。しかし、年々横ばいもしくは若干の減少傾向であることから、更なる効率化へ努める必要がある。
- ②累積欠損金比率  
⇒累積欠損金比率はなし。
- ③流動比率  
⇒100%を上回っているが、類似団体・全国平均を下回っており、今後に備えて注視していく必要がある。
- ④企業債残高対給水収益比率  
⇒年々少しずつ減少傾向で推移している。類似団体・全国平均を下回っているが、将来に備え更なる減少を図りたい。
- ⑤料金回収率  
⇒指標が100%を上回っている。
- ⑥給水原価  
⇒類似団体・全国平均よりも安い水準を維持している。
- ⑦施設利用率  
⇒過去5年をみてもほぼ横ばいに推移している。
- ⑧有収率  
⇒依然として高い水準は維持しているが、近年漏水の増加により僅かずつ下がってきている。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
⇒有形固定資産全体の老朽化度合を示したものであり、類似団体・全国平均よりも高い数値である。更新は随時行っているが、更新が追いついていない状況である。そのため、今後も引き続き更新の必要がある。
- ②管路経年化率  
⇒類似団体とほぼ同じ状況であるが、年々比率が上がってきているため、上記のとおり引き続き更新が必要になってきている。
- ③管路更新率  
⇒類似団体・全国平均よりも低い値となっている。また、H30・R1年度については管路の更新が実施できていないため、今後実施をしていかなければならない。

### 全体総括

経常収支比率、流動比率、料金回収率などは100%を超えており、健全な経営ができている。しかし、管路の経年に伴う更新が十分に進んでいないことから、今後も安定した給水のために将来的な財源の確保が必要になってくる。そのため、引き続き効率的な経営に努めていかなければならない。